

原発の電気を使わない社会を目指して

100W ソーラー発電キット

製作ワークショップとお話

日時 2014年8月17日(日)

第1部 13:00~15:00 発電製作ワークショップ

第2部 15:20~17:00 木村 俊雄さんのお話、質疑

場所 大河原中央公民館 地下会議室

参加費 第1部のワークショップ見学と第二部のお話を聞きたい方は、1000円

※ 自分の発電キットを作成したい方は、43000円(お話の参加費も含む)

最大10名まで先着順(申し込み締め切り 6月末まで)

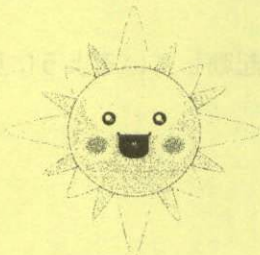
ご不明な点はお問い合わせください

第2部のお話のみ聞きたい方は 500円

福島原発事故の汚染水漏れが続いている中、政府は原発の再稼働の動きを加速しています。原発事故による放射能汚染を経験した私たち。原発の電気に頼らない暮らしを考えてみたいと思いませんか？

運よく、双葉町から高知に避難した木村さんが、川内村で行われる漢原人村の満月祭に来られます。木村さんを講師に、ソーラー発電キット製作ワークショップと、福島第一原発事故の現状についてお話をさせていただきます。

たくさんの方のご参加をお待ちしています。



主催 みんなの放射線測定室「てとてと」

電話/FAX 0224-86-3135

Email sokuteimiyagi@kni.biglobe.ne.jp

木村俊雄さんのプロフィール

福島県双葉町生まれ 49歳

東京の東電学園に進み、

1983年に東京電力入社。

福島第一原発と柏崎刈羽原発に勤務。

福島第一で炉心の設計・管理に携わっていた。

原発への疑問が膨らみ、2000年11月に

退社。朝日新聞の『プロメテウスの罫』にも

取り上げられました。

3・11後、高知県土佐清水市に移住。

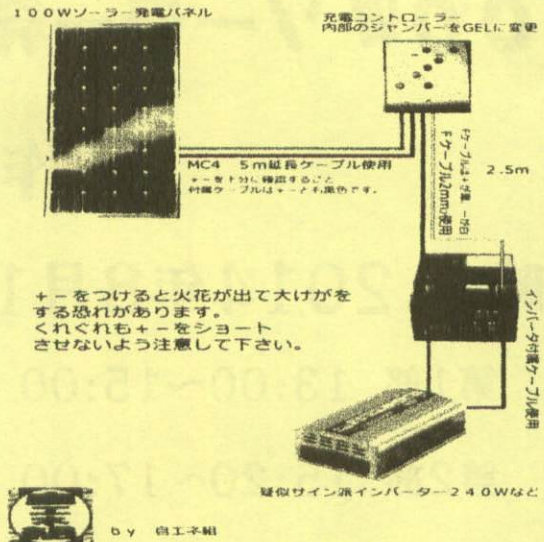
100Wソーラー発電キットの使い道

パネルは50cm×120cmの大きさで、気軽に持ち運びできます。昼間、バッテリーに電気をためて、夜間の照明の補助電源として使用できます。それ以外にも、このような使い方ができると思います。

例えば

- ・車でキャンプに行った際の、キャンプ場での電源として
- ・電気のない山小屋での夜の照明の電源として
- ・大地震等で電気が止まった際の、非常用電源として

100Wソーラー発電キット 電気系統図



以下の図は、100wのパネルで、可能な使用方法です。

エアコン・液晶テレビ・冷蔵庫などに使えます

連続使用可能時間（目安）

	液晶テレビ 42型	家庭用扇風機	石油ヒーター 	空気清浄機 	コンボステレオ
消費電力	50W	50W	20W	25W	20W
連続使用可能時間 フル充電の状態から電源が切れるまでのおおよその時間になります。	約6時間	約6時間	約15時間	約12時間	約15時間

朝日新聞 「プロメテウスの罠」2013年9月11日から(抜粋)

最も若い男は木村俊雄（49）。元東電社員。福島第一で炉心の設計・管理に携わっていた。

年長者は小倉志郎（72）元東芝の技術者。もう一人は後藤政志（64）元東芝の技術者。格納容器設計に携わった。この3人は地震で原子炉は壊れたのでないか、と

「ほら、1号機の床ドレンポンプの動きがおかしいんです。何回も起動しているように見える」

「水が増えたら起動、増えたら起動と……」

床ドレンポンプは原子炉格納容器の底にたまった水を排出する。

水はどこからきたのか。

圧力容器から出る十数本の小配管の一つが切れたと木村は推理した。

「たとえばジェットポンプの計装配管です。これは細くて長くて。東電時代、地震のときに大丈夫かってみんな話していたんですよ」

「配管の破損が無かったことの証明にはなっていないですよ」